

阿波木偶特別展 ●協力 阿波木偶作家協会 ●あわぎんホール5階 **入場無料**

10月18日(木)～23日(火) 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

実演 10月20日(土)・21日(日) 午前10時～午後5時

阿波木偶の頭(カシラ)や衣装のほか、木偶制作に必要な材料や関係資料などを展示します。

実演では、彫りや髪結い、カラクリなど、制作過程をご覧いただけます。また、人形師による解説があります。



阿波木偶の展示



木偶制作の実演



カラクリなどの解説

写真はイメージです。

阿波木偶資料館(常設展) ●あわぎんホール5階 **入場無料**

阿波木偶資料館がリニューアルオープンします。

農村舞台をイメージした展示室に生まれ変わります。

阿波の人形師の祖と言われている駒蔵や

明治・大正・昭和と活躍した初代天狗久の頭等を展示。



阿波木偶資料館 外観イメージ図



ホワイエ情報 **入場無料**

人形遣い・大夫体験コーナー



10月20日(土)

阿波木偶箱廻しを復活する会

阿波木偶「箱廻し」や「三番叟まわし」をはじめ、徳島県独自の無形民俗文化財の調査研究を目的として、1995年に発足。1970年代から被差別部落の聞き取りを始め、1999年に東みよし町の三番叟まわし芸人に弟子入りし、正月の門付けに3年間同行して技術と回籠先を受け継ぐ。2002年から師匠の門付け先を受け継いで回籠する。2012年には、900軒余りの家に福を届けた。また、「えびすまわし」「大黒まわし」や大道芸の「箱廻し」などを伝承し、国内外で公演活動を行う。2006年徳島新聞賞「文化賞」、2009年ユネスコ「ACCU賞」、徳島県「阿波文化創造賞」。



10月21日(日)

平成座

平成元年に大夫・三味線・人形の「三業一体」揃った座と結成。平成8年と平成10年に「傾城阿波の鳴門全国大会」主催。平成12年、18年、23年と3回にわたり北海道倶知安町公演。平成19年の国文祭では、皇太子殿下、雅子妃殿下にご高覧いただきお言葉を賜る。平成20年、二十周年記念公演。平成21年にはブラジル公演。小・中学校への「出前人形浄瑠璃」を行うほか、平成9年に結成した子どものクラブを続ける。友路師匠(100歳)を心魂に刻み活動してまいります。(座長藤本宗子)

友成会

平成10年10月から義大夫節三味線人間国宝鶴澤友路師匠に師事。平成12年3月、三味線の原加代子が鶴澤友音を拝名したのを機会に、友路師匠の「友」と平成座の「成」で、大夫・三味線部門を「友成会」として発足。現在、大夫の藤本宗子が竹本友幸、粟飯原泰子が竹本友希、道辻松一郎が道辻友十、三味線の石川たか子が鶴澤友春、久米川文男が鶴澤友文、藤本康代が鶴澤友康を拝名して、それぞれ精進して励んでおります。

●人形からの福のお裾分け(開場、閉場時) ●出演団体からのお国自慢プレゼント抽選会 ●観光情報コーナー
2階特別展示室 ●全国人形浄瑠璃情報 ●めりえコーナー ●休憩コーナー

お問い合わせ (財)徳島県文化振興財団 第27回国民文化祭担当チーム 〒770-0835 徳島市藍場町2-14 Tel.088-602-0133(直通) Tel.088-622-8121(代表)



全国人形芝居フェスティバル

交流と連携が創る 人形浄瑠璃 未来への飛躍

平成24年10月20日(土)～21日(日) 午前10時～午後5時

あわぎんホール(徳島県郷土文化会館・徳島市藍場町2丁目14) 1階ホールほか

入場無料

各日
先着300名様に
記念品プレゼント

●全国人形芝居の上演

10月20日(土) 午前10時～午後5時

10月21日(日) 午前10時～午後0時35分

●10月21日(日) 午後1時～

「人形浄瑠璃街道」魅力発信シンポジウム

阿波人形浄瑠璃と演劇を融合した新作上演

淡路人形座によるプロ上演

●阿波木偶の魅力発信事業(5階)

阿波木偶資料館(常設展示)のリニューアル

阿波木偶特別展

主催 文化庁 徳島県 第27回国民文化祭徳島県実行委員会

(財)徳島県文化振興財団 文化立県とくしま推進会議 (財)自治総合センター(人形浄瑠璃街道魅力発信シンポジウム)

共催 関西広域連合 人形浄瑠璃街道連絡協議会

協力 (公財)阿波人形浄瑠璃振興会 阿波木偶箱廻しを復活する会 阿波木偶作家協会
はなやか関西～文化首都年～2012「人形浄瑠璃」実行委員会



阿波銀行は徳島県の文化振興を応援しています。



はなやか関西～文化首都年～2012「コア事業」



ACCU



この事業には宝くじの収益金の一部が使われています。